

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC913 U.S. PTO
09/680727
10/05/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 3月 3日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-058476

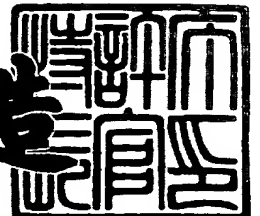
出 願 人
Applicant(s):

村田機械株式会社

2000年 8月25日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3066761

【書類名】 特許願

【整理番号】 00P047312

【提出日】 平成12年 3月 3日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明者】

 【住所又は居所】 京都市伏見区竹田向代町 1 3 6 番地 村田機械株式会社
 本社工場内

 【氏名】 谷本 好史

【特許出願人】

 【識別番号】 000006297

 【氏名又は名称】 村田機械株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100087664

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中井 宏行

 【電話番号】 0797-81-3240

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 015532

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9805179

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークファクシミリシステム及びこれに用いる統括サーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムにおいて、上記通信ネットワークには、統括サーバを更に接続し、この統括サーバは、上記ファクシミリサーバ及び上記クライアントをグループ分けして記憶する記憶手段を備えるネットワークファクシミリシステム。

【請求項 2】

請求項 1 において、

上記統括サーバは、上記ファクシミリサーバと上記クライアントとの間でデータ伝送をするときには、上記記憶手段を参照して、同じグループ同士でのみデータ伝送を可能とするネットワークファクシミリシステム。

【請求項 3】

複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに、請求項 1 または請求項 2 に記載の機能を実施させることのできる統括サーバ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを接続する通信ネットワークに、統括サーバを接続して構成したネットワークファクシミリシステム、およびこの統括サーバに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近時、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを接続する通信ネットワークに、統括サーバを接続して構成したネットワークファクシミリシステ

ムが提案されており、このものでは、統括サーバは、いずれのファクシミリサーバにも、常時ログイン状態となっており、各クライアントよりログインされ、相手先を指定したファクシミリ送信の指示があると、指定された相手先に対応するファクシミリサーバを選択し、選択したファクシミリサーバに対して、クライアントからのデータを送信し、指定された相手先にファクシミリ送信をする指示をする一方、各ファクシミリサーバよりデータを受信すると、相手先に対応するクライアントを選択し、選択したクライアントに対して、ファクシミリサーバからのデータを配信するようになっている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上記した従来のネットワークファクシミリシステムでは、統括サーバは、データを送信すべきファクシミリサーバや、データを配信すべきクライアントを選択するのを、指定された相手先に基づいて行っており、ファクシミリサーバとクライアントとをグループ分けして、同じグループ同士でデータ伝送を行うものではなく、その開発が望まれていた。

【 0 0 0 4 】

本発明は、上記事情を考慮してなされたものであり、ファクシミリサーバとクライアントとをグループ分けして、ファクシミリサーバとクライアントとの間におけるデータ伝送を、同じグループ同士でのみ可能とすることにより、その伝送結果を容易に管理することのできるネットワークファクシミリシステムを提供することを目的としている。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の請求項 1 に記載のネットワークファクシミリシステムでは、通信ネットワークには、統括サーバを更に接続し、この統括サーバは、ファクシミリサーバ及びクライアントをグループ分けして記憶する記憶手段を備える。

【 0 0 0 6 】

請求項 2 に記載のネットワークファクシミリシステムでは、統括サーバは、フ

ファクシミリサーバとクライアントとの間でデータ伝送をするときには、記憶手段を参照して、同じグループ同士でのみデータ伝送を可能とする。

【 0 0 0 7 】

請求項 3 に記載のネットワークファクシミリシステムでは、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに、請求項 1 または請求項 2 に記載の機能を実施させることができるようにしている。

【 0 0 0 8 】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明の実施の形態について、図面とともに説明する。図 1 は、本発明のネットワークファクシミリシステムの要部構成の一例を示す図である。

【 0 0 0 9 】

このネットワークファクシミリシステムは、公衆回線網 N 1 に接続された複数のファクシミリサーバ 1 (# 1 ~ # n) と、複数のクライアント 3 (# 1 ~ # n) とを、通信ネットワークの 1 つである LAN を介して接続し、更に、LAN に統括サーバ 2 を接続することで構成されている。

【 0 0 1 0 】

なお、図中、4 はメールサーバ、5 はインターネット N 2 に接続されたルータを示しており、ルータ 5 を通じてインターネット N 2 より受信した電子メールや、各クライアント 3 から受信した電子メールをメールサーバ 4 に格納しておき、各クライアント 3 より、メールサーバ 4 にログインすることで、これらの電子メールを受信して参照したり、各クライアント 3 よりルータ 5 を通じて、インターネット N 2 にアクセスすることができる。また、ここでは、通信ネットワークとして LAN を用いているが、本発明ではこの例に限られず、WAN などを用いてもよい。

【 0 0 1 1 】

このような構成において、統括サーバ 2 は、いずれのファクシミリサーバ 1 にも、常時ログイン状態となっており、ファクシミリサーバ 1 とクライアント 3 との間におけるデータ伝送を、同じグループ同士でのみ可能とすることにより、そ

の伝送結果を容易に管理することができるようになっている。

【 0 0 1 2 】

そのため、統括サーバ2は、記憶手段として、図2に示すような各テーブルを備えている。すなわち、図2（a）はクライアント部門テーブル20を示しており、各クライアント3に対して、そのグループ（ここでは部門）が登録されている。また、図2（b）はファクシミリサーバ部門テーブル21を示しており、各ファクシミリサーバ1に対して、そのグループ（ここでは部門）が登録されている。

【 0 0 1 3 】

このようなテーブル20、21を用いて、本システムは、以下に示すような動作をなす。すなわち、図3には、各クライアント3よりファクシミリサーバ1にデータを送信してファクシミリ送信指示をするときの動作が示されており、いずれかのクライアント3からデータを受信して、相手先を指定してファクシミリ送信をする指示がなされたときには（100）、統括サーバ2は、クライアント部門テーブル20を参照して、そのクライアント3の属する部門を判別し、そして判別した部門に対応するファクシミリサーバ1を、ファクシミリサーバ部門テーブル21を参照して判別する（101）。そして、判別したファクシミリサーバ1に対して、クライアント3から受信したデータを送信して、指定された相手先にファクシミリ送信をする指示をなす（102）。

【 0 0 1 4 】

すると、ファクシミリサーバ1は、受信したデータを、指定された相手先にファクシミリ送信し（103）、その送信結果を通信管理記録として統括サーバ2に送信するので（104）、これを受信した統括サーバ2は、受信した送信結果を通信管理記録22として記憶するとともに、クライアント3に対して送信し（105）、これを受信したクライアント3は、受信した送信結果を表示するとともに記憶する（106）。なお、判別したファクシミリサーバ1が複数ある場合には、統括サーバ2は、所定順、あるいは一斉にデータ、送信結果を送信する。

【 0 0 1 5 】

一方、図4には、ファクシミリサーバ1が公衆回線網N1を介してデータを受

信し、受信したデータを各クライアント3に配信するときの動作が示されており、ファクシミリサーバ1が、公衆回線網N1を介してデータを受信すると(200)、統括サーバ2に対して、受信したデータとその受信結果とを送信するので(201)、これらを受けた統括サーバ2は、ファクシミリサーバ部門テーブル21を参照して、そのファクシミリサーバ1の属する部門を判別し、そして判別した部門に対応するクライアント3を、クライアント部門テーブル20を参照して判別する(202)。そして、判別したクライアント3に対して、データと受信結果とを配信するとともに、受信結果を通信管理記録22として記憶する(203)。なお、判別したクライアントが複数ある場合には、統括サーバ2は、所定順、あるいは一斉にデータ、受信結果を配信する。

【0016】

そして、クライアント3は、統括サーバ2からデータと受信結果とを受信すると、受信したデータと受信結果とを表示するとともに記憶する(204)。

【0017】

【発明の効果】

以上の説明からも理解できるように、本発明の請求項1に記載のネットワークファクシミリシステムでは、通信ネットワークには、統括サーバを更に接続し、この統括サーバは、ファクシミリサーバ及びクライアントをグループ分けして記憶する記憶手段を備えるので、ファクシミリサーバとクライアントとの間におけるデータ伝送を、同じグループ同士でのみ可能とすることができる。

【0018】

請求項2に記載のネットワークファクシミリシステムでは、統括サーバは、ファクシミリサーバとクライアントとの間でデータ伝送をするときには、記憶手段を参照して、同じグループ同士でのみデータ伝送を可能とするので、ファクシミリサーバとクライアントとの間におけるデータの伝送結果を容易に管理することができる。

【0019】

請求項3に記載のネットワークファクシミリシステムでは、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成し

たネットワークファクシミリシステムに、請求項 1 または請求項 2 に記載の機能を実施させることができるようにしているので、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに、この統括サーバを接続すれば、そのシステムは、請求項 1 または請求項 2 に記載の効果を発揮するようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のネットワークファクシミリシステムの要部構成の一例を示す図である。

【図 2】

図 2 (a) はクライアント部門テーブルの構成の一例を示す図であり、図 2 (b) はファクシミリサーバ部門テーブルの構成の一例を示す図である。

【図 3】

クライアントよりファクシミリサーバに対してファクシミリ送信を指示する際のシステムの動作を説明するためのシステム動作図である。

【図 4】

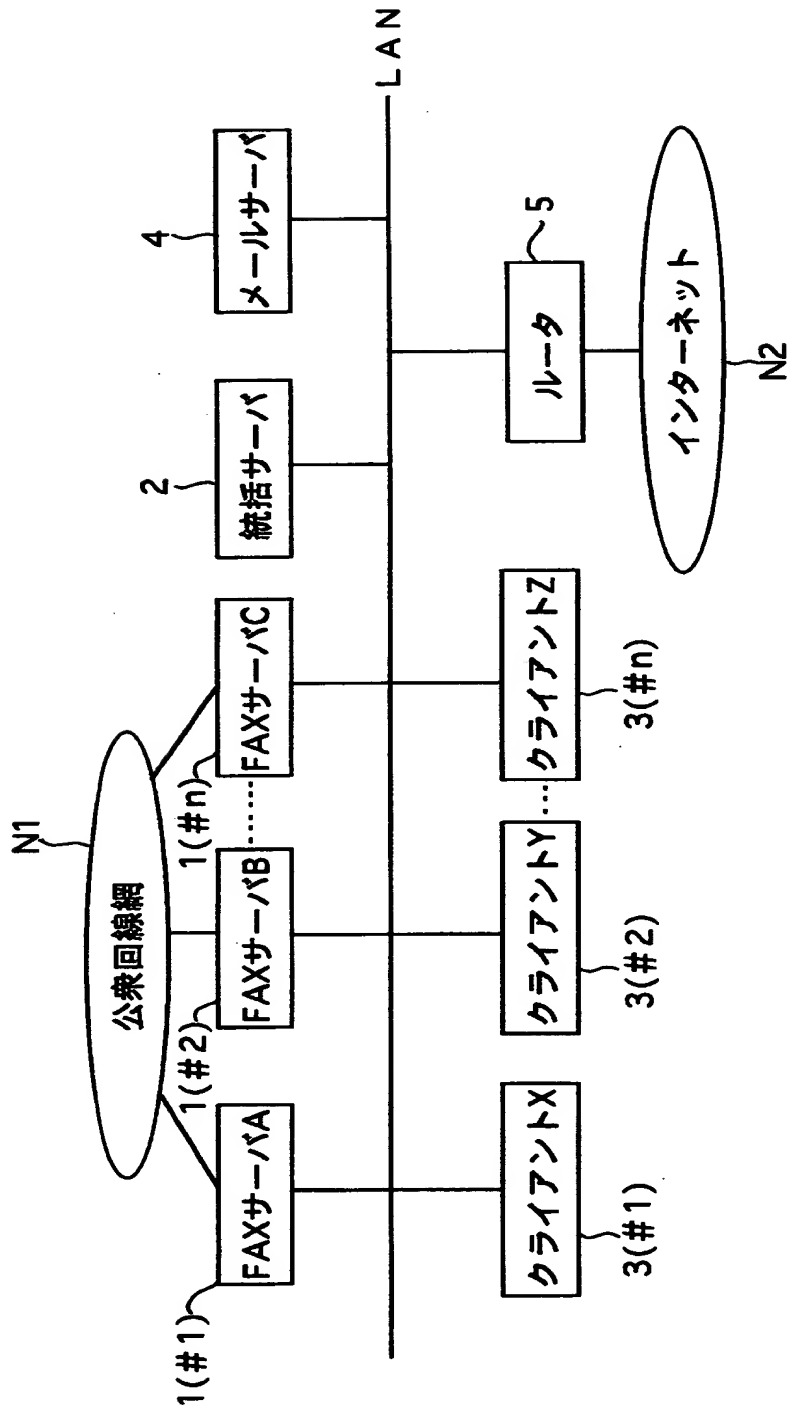
ファクシミリサーバが受信したデータをクライアントに送信する際のシステムの動作を説明するためのシステム動作図である。

【符号の説明】

- 1 . . . ファクシミリサーバ
- 2 . . . 統括サーバ
- 3 . . . クライアント
- 2 0 . . . クライアント部門テーブル
- 2 1 . . . ファクシミリサーバ部門テーブル

【書類名】図面

【図1】



【図 2】

(a)

| クライアント部門テーブル | |
|--------------|----------|
| クライアント | 部門 |
| X | abc |
| Y | bbc |
| Z | bbc, ddx |
| ⋮ | ⋮ |

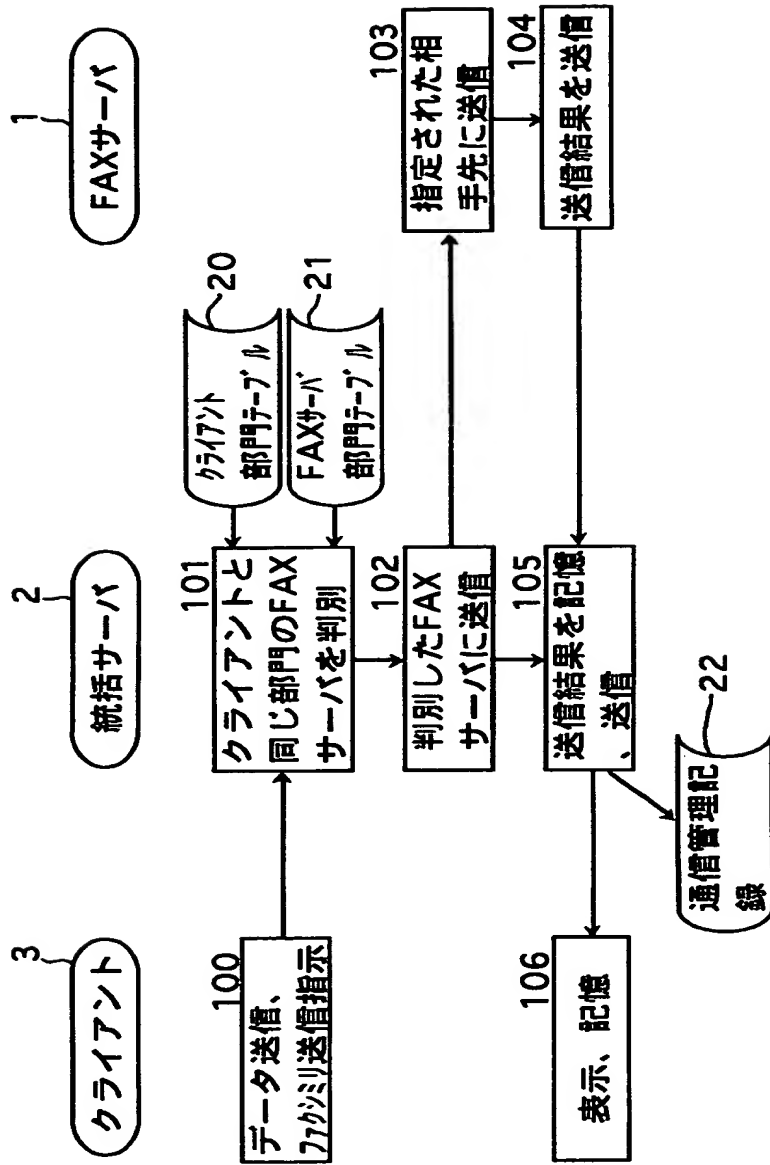
20

(b)

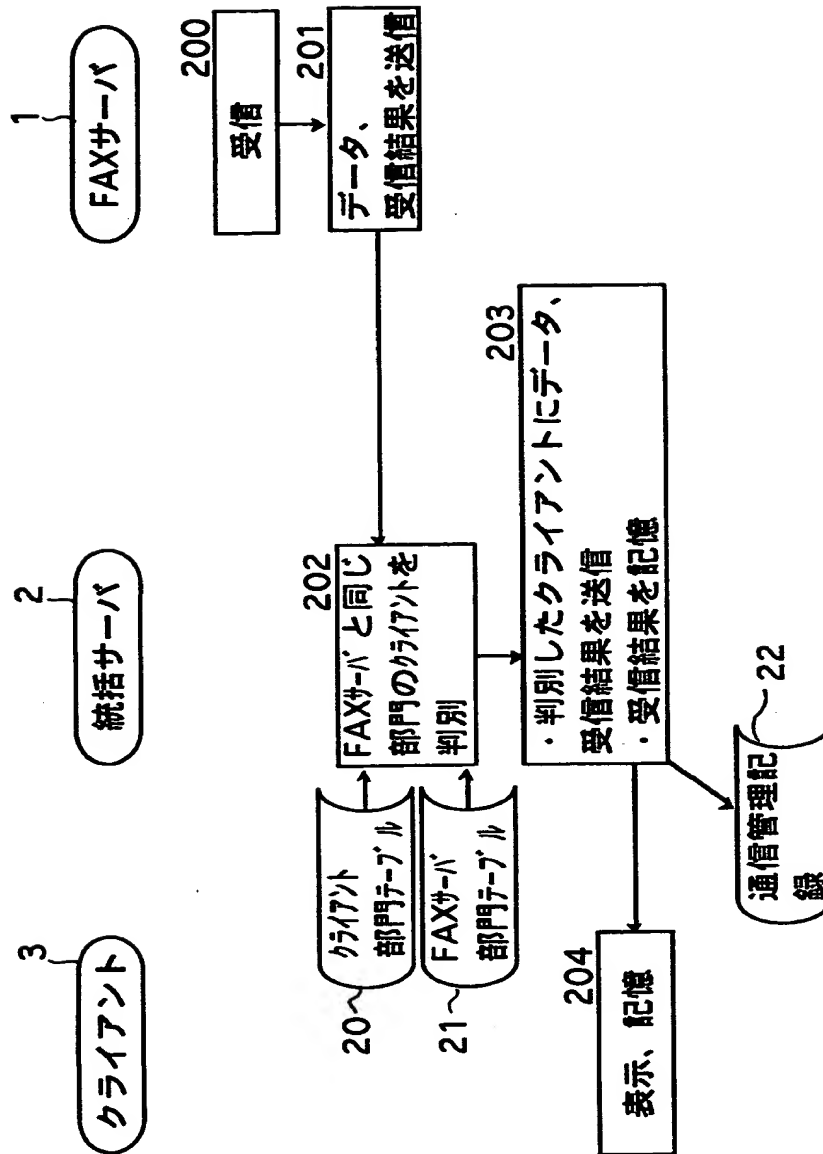
| FAXサーバ部門テーブル | |
|--------------|----------|
| FAXサーバ | 部門 |
| A | abc |
| B | bbc, ddx |
| C | bbc |
| ⋮ | ⋮ |

21

【図 3】



【図 4】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】ファクシミリサーバとクライアントとをグループ分けして、ファクシミリサーバとクライアントとの間におけるデータ伝送を、同じグループ同士でのみ可能とするネットワークファクシミリシステムを提供する。

【解決手段】通信ネットワークには、統括サーバ2を更に接続し、この統括サーバ2は、ファクシミリサーバ1及びクライアント3をグループ分けして記憶する記憶手段を備える。

【選択図】図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006297]

| | |
|----------|--------------------|
| 1. 変更年月日 | 1990年 8月 7日 |
| [変更理由] | 新規登録 |
| 住 所 | 京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地 |
| 氏 名 | 村田機械株式会社 |